



『環境との調和』

(株)日立ハイテクアナリシス 富士小山事業所
環 境 パ ン フ レ ッ ト



■ 持続可能な社会をめざして

日立グループは、「日立の環境ビジョン」に基づき、長期目標「日立環境イノベーション2050」、および「環境行動計画」の目標達成に向け、環境に配慮した製品・サービスの開発・普及に努め、持続可能な社会の実現をめざしていきます。当社は、日立ハイテクグループの基本理念に示された「環境との調和」を実践し、持続可能な社会の実現に貢献すべく環境方針を制定し、環境管理計画を策定して全社で環境活動に取り組んでいます。

株式会社 日立ハイテクアナリシス

■ 環境方針

株式会社 日立ハイテクアナリシス
富士小山事業所 環境方針

【基本的な考え方】

日立ハイテクグループは、持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえたマテリアリティ(重要課題)である「持続可能な地球環境への貢献」を経営の最優先課題の一つとし、事業活動を通して環境保全活動に努め、環境価値創造企業をめざす。

【方針】

株式会社日立ハイテクアナリシス富士小山事業所、株式会社日立ハイテク富士小山事業所、及びエスアイアイ・ロジスティクス株式会社小山事業所は、分析・計測・観察製品の開発・製造・保守・物流などの事業活動、製品及びサービスを通して、最先端技術の絶え間ない追求と法令の順守、環境汚染の予防を行い、社会的責任を果たすとともに「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向け、積極的に取り組みます。

【環境テーマ】

「世界遺産富士山のもと、日立ハイテクサイエンスの森を発展させ、持続可能な地球環境に貢献し、事業と環境を両立させよう」

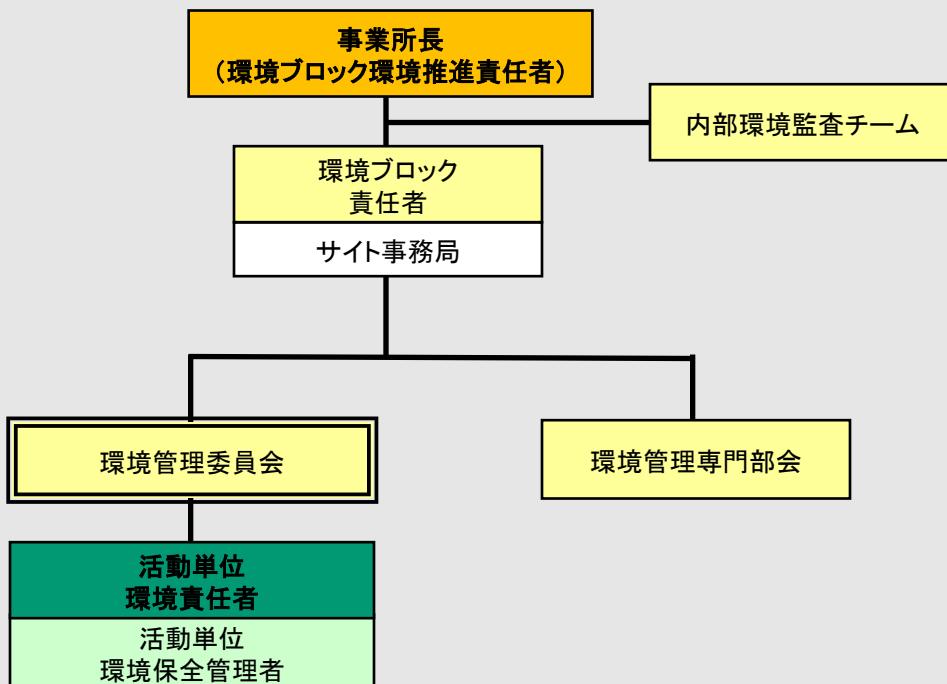
【環境活動項目】

1. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを運用・維持し、継続的な改善を行います。
2. 環境教育を充実させ、人財育成と環境意識の高揚を図ります。
3. 環境保全に関する法規制・当社規則及び受け入れたその他の要求事項を順守し、汚染の予防に努めます。
4. 地球環境保全のために、次の事項に取り組みます。
 - a. 研究・開発段階からエコデザインを適用し、環境負荷の低減を進め、環境に優しい製品（環境に配慮した製品）開発を推進します。
 - b. 地球温暖化防止のため、CO₂排出量の削減に取り組みます。
 - c. 廃棄物の発生を抑制し、再資源化を推進します。
 - d. 化学物質による環境リスクを低減させるとともに、有害物質の排除を推進します。
 - e. 「日立ハイテクサイエンスの森」を育成し、生物多様性の保全及び回復に貢献します。
5. 監査結果及び環境影響評価を踏まえ、環境方針及び環境目標を定期的に見直し、設定します。
6. 環境保全に関する社会活動を通して地域社会に貢献します。
7. 環境方針と環境活動の内容は、全従業員に周知します。また、社外にも公開します。

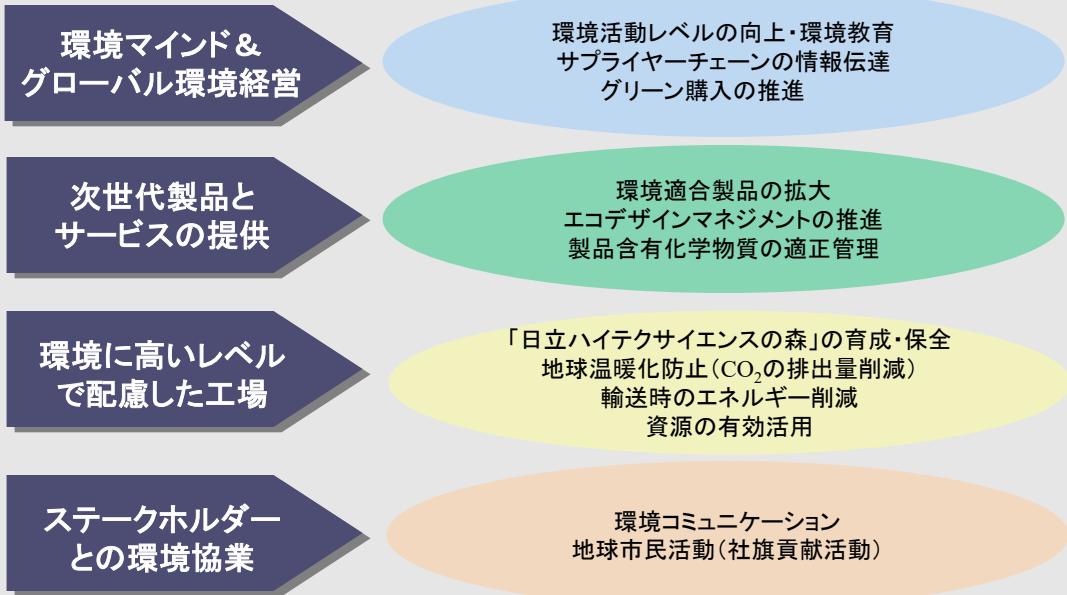
2025年4月1日

株式会社 日立ハイテクアナリシス
富士小山事業所
環境ブロック環境推進責任者
草野年男

■ 環境活動推進体制



■ 当事業所 環境保全活動



環境市場向け当社の製品例

フタル酸エステル類検査装置 HM1000A

①RoHS指令の改正に伴い2019年7月から規制対象物質に加わった4種類のフタル酸エステル類を、生産現場で簡単にスクリーニング検査できます。

②操作性の良さに加え、約8時間で50個の自動測定という高スループットな検査を実現しています。



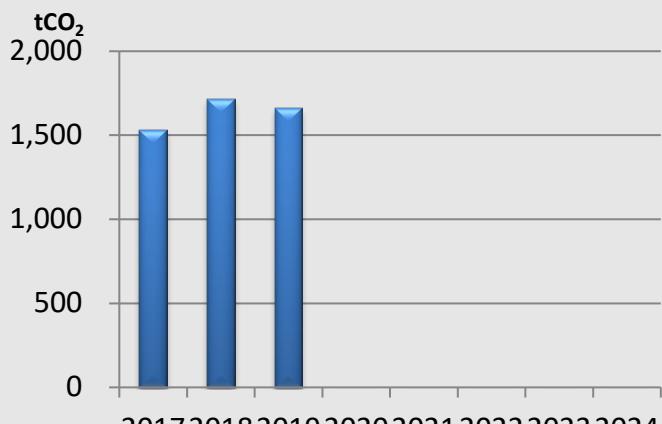
蛍光X線分析装置 EA1000AIII

①WEEE／RoHS等により使用が制限されている有害物質(Cd,Pb,Hg,Br,Cr)を管理できます。

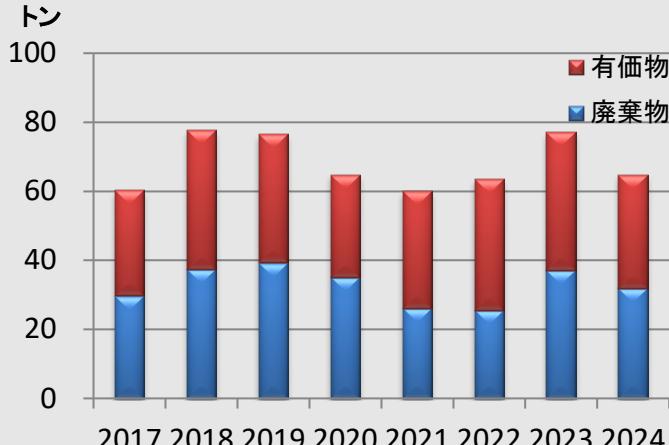
②RoHS指令規制対象元素以外にも、塩素(Cl)をはじめ、さまざまな元素の管理もできます。



■CO₂排出量(省エネルギー)



■廃棄物量(有価物を含む)



※2020年度分より証書購入により実質CO₂排出量ゼロを達成中です。

事業活動と人員構成

■分析・計測機器の開発製造

(株)日立ハイテクアナリシス 281名
(株)日立ハイテク 137名



高性能FIB-SEM複合装置
Ethos NX5000シリーズ

■倉庫管理・配送

エスアイアイ・ロジスティクス(株) 30名

合計 448名 (2025年3月現在)
※派遣・請負・出向者等含む



示差熱重量同時測定装置
NEXTA STAシリーズ

当事業所 のあゆみ

- 1970年 第二精工舎(現セイコーインスツル(株))が分析計測機器、音響機器開発のため東京都江東区にRDセンターを設置
- 1972年 RDセンターを科学機器部と改称
- 1973年 科学機器部の開発・製造部門を移転し、小山事業所(現1号館)を設置
- 1983年 南北朝時代の当地での戦没者慰靈と工場の発展を願って、萬靈観音像を建立
- 1984年 小山事業所2号館竣工
- 1993年 小山事業所にクリーンルーム仕様の3号館竣工
- 1994年 ISO9001認証取得(科学機器事業部)
- 1998年 ISO14001認証取得
- 2002年 試験所認定の国際規格ISO/IEC17025の認証を取得(物理試験)
- 2003年 科学機器事業部をエスアイアイ・ナノテクノロジー(株)として分社
- 2005年 新たに本社を含め、小山事業所及び関連サイトとしてISO14001を認証取得
- 2010年 小山事業所単独でISO14001:2004の再認証取得
- 2013年 エスアイアイ・ナノテクノロジー(株)を(株)日立ハイテクサイエンスに改称
- 2015年 「日立ハイテクサイエンスの森」がJHEP認証でAA⁺を取得
- 2016年 「日立ハイテクサイエンスの森」が日立グループ「GREEN21」大賞を受賞
- 2017年 「日立ハイテクサイエンスの森」が、「Hitachi High-Tech WAY」賞特賞を受賞
- ISO14001:2015の認証取得
- 2018年 「緑化優良工場等表彰」において一般財団法人日本緑化センター会長表彰を受賞
- 2020年 富士小山事業所に事業所名改称
- 「日立ハイテクサイエンスの森」がJHEP認証でAAA(最高ランク)を取得
- 2024年 「日立ハイテクサイエンスの森」が環境省「自然共生サイト」に認定
- 「緑化優良工場等表彰」において関東経済産業局長賞を受賞
- 2025年 (株)日立ハイテクサイエンスを(株)日立ハイテクアナリシスに改称



萬靈觀音像

ISO 14001認証取得

認証機関 : ビューローベリタスジャパン株式会社

認証番号 : JP022694

初回認証日: 1998年8月25日

有効期限 : 2025年8月24日

株式会社 日立ハイテクアナリシス

富士小山事業所 〒410-1393 静岡県駿東郡小山町竹之下36-1

TEL 0550-76-3344 (代表)

本社 〒105-6411 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

TEL 03-3504-3966 (代表)